

2. 普及啓発

2-1. 概要

行動計画に示す普及啓発の取組として、県民の外来種問題への意識向上や、ペットや園芸植物等の適正飼養・栽培を促すため、県民や関係事業者等に対し、普及啓発のための取組を実施した。

- | | |
|------------|--------------|
| ・ 県民全般 | 外来種イベントの開催 |
| ・ 学校等 | 普及啓発資料の作成・配布 |
| ・ ペットショップ等 | 普及啓発資料の作成・配布 |
| ・ 農林水産事業者 | 普及啓発資料の作成・配布 |

以下、行動計画での記載内容と今年度の取組を整理した。

2-2. 県民全般

【行動計画での記載内容】(p3)

(1) 対策基盤の整備
1) 普及啓発
① 県民全般
外来種はペット等としても多く利用されており、私たちの生活と密接に関わっています。このため、県民一人ひとりが外来種問題を認識し、外来種被害防止三原則（「入れない」「捨てない」「広げない」）を守ることが大切です。
現在実施している捨て犬・捨て猫ゼロを目指した「一生うちの子プロジェクト」によりペットの適正飼養を促すとともに、行政施設等においてパンフレットの配布やポスターの掲示等を行い、県民全体の外来種問題への意識向上を図ります。また、県内で開催されるイベント（県民環境フェア等）にブースの出展を行い、パンフレットの配布やパネルの展示を行います。

【今年度の取組内容】

県内で開催されるイベント（環境フェア等）にブースの出展を行い、パンフレットの配布やパネルの展示を行う計画としていた。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、今年度の県民環境フェアが中止となった。このため、別の普及啓発の機会として、沖縄県立博物館・美術館において、会場とオンラインによる普及啓発イベントを開催した。

【オンライン併用イベント】沖縄の外来種問題を考えよう！

- ・ 概要：高校生以上の沖縄県民を対象とした沖縄の外来種問題に関するイベント（オンライン併用セミナー）。また、会場にて併設パネル展を開設し、普及用資料の配布も行った。
- ・ 会場：沖縄県立博物館・美術館 博物館 講座室
- ・ オンライン接続：Zoom ウェビナー
- ・ 日時：2021年3月14日（日）14:00～15:00：オンライン併用セミナー、10:00～17:00：併設パネル展

マングース、ヒアリ、グリーンアノールなど
沖縄の外来種問題を考えよう！



オンライン併用セミナー 14:00~15:00

- 参加方法** ① 沖縄県立博物館・美術館(博物館 講座室)(定員 30 名)
② オンライン接続 Zoom ウェビナー(定員 100 名)

※**事前申込**。先着順。申込方法は裏面をご参照ください。

※新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、オンライン接続のみとなります。
右記のホームページのトピックスから確認ください。 <https://www.okikanka.or.jp/>



話 題① 外来種は何が問題なのか？

佐々木 健志 (琉球大学 風樹館)



話 題② 沖縄県の外来種対策の取組

グリーンアノール、タイワンスジオ、クジャク、イタチ。マングース以外にも問題となる外来種は数多くいます。沖縄県による取組をご紹介します。



※セミナーの開催状況はホームページ等でご紹介させていただく場合があります。予めご了承ください。

併設パネル展 10:00~17:00

沖縄県立博物館・美術館(博物館 講座室)

※**当日受付**。事前の参加申込は必要ありません。

新型コロナウイルス感染予防のため、当日会場入口にて、検温等のご協力をお願いします。
また感染拡大状況によっては、中止となります。上記ホームページをご確認ください。

実物大パネル、ヒアリ顕微鏡観察、外来種解説パネルなど

主 催：沖縄県環境部自然保護課
問合先：(一財) 沖縄県環境科学センター
外来種セミナー担当
TEL:(098)875-5208 / FAX:(098)875-1943
e-mail: 0314seminar@okikanka.or.jp



オンライン併用セミナー（会場）の様子



併設パネル展の様子



併設パネル展の様子（配布物等）



併設パネル展の様子（ヒアリを見てみよう）

オンライン併用セミナーには会場 14 名、オンライン 18 名の計 32 名に参加いただいた。また、併設パネル展には 51 名に来場いただいた。

オンライン併用セミナー、併設パネル展のそれぞれでアンケートを実施し、それぞれ 14 名、12 名から回答を得た。その結果、オンライン併用セミナーでは、すべての方に沖縄県の外来種対策に理解いただき、沖縄県の外来種対策は今後も必要との回答を得た。また、すべての方がセミナーの開催を希望し、今後、生態系や生物多様性に関するセミナーを希望するとの回答を得た。

併設パネル展のアンケートでは、外来種という言葉を知っていたものの、17%は意味は知らなかった、と回答であった。沖縄県が外来種対策を実施していることについては、67%の方が知っていたものの、33%は知らなかった。また、このパネル展を通じて、すべての方から理解が深まったと回答を得た。印象に残った体験では、「ヒアリを見てみよう」が 83%と最も高く、次いで「解説パネル (58%)」、「実物大パネル (50%)」、「トラップ (42%)」、「ぬりえ (17%)」の順であった。感じたこととして、「動物を捨てない、逃がさない」が最も高く 83%、次いで「もっと学びたい (67%)」、「植物を敷地外に植えない (58%)」、「イベントに参加したい (42%)」の順であった。

アンケート結果（オンライン併用セミナー）

○参加者数	32	
・オンライン	18	56%
・会場	14	44%

○回答数	14	
・オンライン	12	86%
・会場*	2	14%

(※会場では手違いにより2部のみ配布となった)

Q1：沖縄県の外来種対策について、ご理解いただけましたか。

・理解できた	14	100%
・理解できなかった	0	0%
・その他	0	0%

Q2：沖縄県の外来種対策は、今後も必要と考えられますか。

・必要である	14	100%
・必要ではない	0	0%
・その他	0	0%

Q3：今後もこのようなセミナーの開催を希望しますか

・希望する	14	100%
・希望しない	0	0%
・その他	0	0%

Q4：セミナーの開催を「希望する」とご回答いただいた人にご質問です。どのような形式がご参加しやすいでしょうか

・会場での参加	3	12%
・オンラインでの参加	12	86%
・出前授業など講師が各地へ伺う形式	1	7%
・その他	1	7%

(屋外授業、対策作業とセットでの講座・学校で授業の一環として行う)

※オンラインでの回答は1つに限られる設定であったが、会場でのアンケートでは重複回答できたため、合計数は異なる

Q5：今後セミナーを開催する場合、ご希望の内容がありましたら、ご記入下さい

- ・生物多様性に関するセミナー
- ・沖縄ならではの生態系とからめたものに興味を持ちました。
- ・沖縄県やんばる地域の生物・生態系に関すること（新たな発見や、現況、課題等）

アンケート結果（併設パネル展）

○参加者数	51	
・午前（10～13時）	13	25%
・午後（13～17時）	38	75%

○回答数	12	
-------------	-----------	--

Q1：今日、会場を訪れる前、外来種という言葉を知っていましたか

・外来種という言葉の意味を知っていた	10	83%
・外来種という言葉は聞いたことはあったが、意味は知らなかった	2	17%
・今日、初めて外来種という言葉を知った	0	0%
・わからない	0	0%

Q2：沖縄県が外来種対策を実施していることを何かひとつでも知っていましたか

・知っていた	8	67%
・知らなかった	4	33%
・わからない	0	0%

Q3：このブースの体験を通じて、外来種についての理解が深まりましたか

・理解が深まった	12	100%
・理解は深まらなかった	0	0%
・わからない	0	0%

Q4：このブースのどの体験がもっとも印象に残りましたか。複数回答可

・ヒアリを見てみよう	10	83%*
・ぬりえ	2	17%*
・実物大パネル	6	50%*
・解説パネル	7	58%*
・紅型	5	42%*
・トラップ	5	42%*
・その他	0	0%*
・印象に残った体験はなかった	0	0%*
・わからない	0	0%*

*回答者12名に対する割合

Q5：今日のブースでの体験から感じたことを教えてください

・飼育している動物を捨てない、逃がさないようにしようと思った	10	83%*
・栽培している植物を敷地の外に植えないようにしようと思った	7	58%*
・外来種についてもっと学びたいと思った	8	67%*
・外来種対策のイベントに参加してみたいと思った	5	42%*

・特に感じたことはなかった	0	0%*
・その他	0	0%*
・わからない	0	0%*

*回答者 12 名に対する割合

2-3. 学校等

【行動計画での記載内容】(p3)

② 学校等

小学校、中学校、高等学校等における教育は、県民の基本認識の形成に大きな影響があります。このため、学校種別に応じた外来種に関するパンフレット等を作成し、配布を行います。また、学校では教材として外来種が利用されることも多く、外来種を適正に管理するとともに正しい知識を子どもたちに伝えることも重要となることから、教員の外来種に対する意識や知識の向上を図るための取り組みを行います。さらに、効果的に外来種について学ぶことができる教材の提供などを通して、学校での取組を支援していきます。また、これらのパンフレットや教材等の資料提供にあたっては、配布後にアンケート調査等を行い、普及啓発の効果を検証します。

【今年度の取組内容】

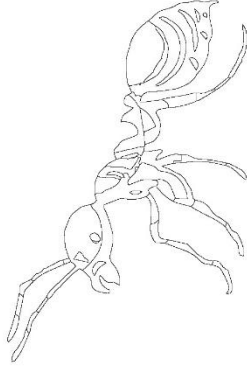
小学校低学年向け、小学校高学年向け、中学・高校生向けの3種類の教材等を作成し、各学校に配布した。教材等の配布にあたっては、次年度以降の教材改善に向けた意見募集を行うとともに、追加の教材配布希望を伺う形とした。

対象	印刷部数	配布先
小学校低学年向け	4,000部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内全小学校 265校×12部（各学年2部。ただし、学級数が6以下の場合学級数）＝2,786部 ・ 余部：1,214部（配布希望先への配布予定）
小学校高学年向け	4,000部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内全小学校 265校×12部（各学年2部。ただし、学級数が6以下の場合学級数）＝2,786部 ・ 余部：1,214部（配布希望先への配布予定）
中学・高校生向け	2,000部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内全中学校 150校×6部（各学年2部。ただし、学級数が3以下の場合学級数）＝808部 ・ 県内全高等学校 68校×6部（各学年2部。ただし、学級数が3以下の場合学級数）＝403部 ・ 余部：789部（配布希望先への配布予定）
計	10,000部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 483箇所 (小学校265校、中学150校、高校68校)に6,783部配布

※このほか、小学校高学年向けは、教員用資料を3,000部印刷し、県内全小学校265校に12部（各学年2部。ただし、学級数が6以下の場合学級数）の計2,786部配布した。

ヒアリ

小さなアリだけど、おしりにどくばりをもっていて、させられるとすごくいたい！たまーにだけど、しんでしまう人もいるおそろしいアリなんだ。沖縄ではみつつかつていないけど、ぜっつたいに沖縄に入ってこないように、港でちやうさがおこなわれているよ。



ぬりえでまねぼう！

おきなむけん かいらいしゆ
沖縄県の外来種

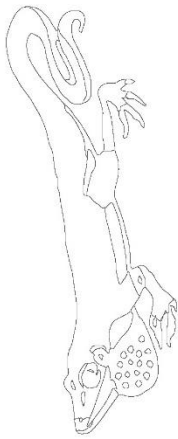
外来種ってきいたことある？
人がほかのちいきからつれてきた生きものを「外来種」というよ。
この外来種が大きな問題になっているんだけど、どうしてなんだろう。

フイリマングース

どくへびのハブをたいじしてくれと期待されて沖縄につれてこられたよ。でも、ヤンバルクイナなど、ハブよりかんたんに食べられる生きものがたくさんいるから、ハブはあまり食べていないみたい。けっきょく、ヤンバルクイナなどがすぐくへってしまっただ。



外来種の生き物はただ生きていだけなんだけど、困ったことがおこってしまうことがおおいんだ。外来種はまず、自然の中にはなさないことが大事！生きものをかっつたら、ぜっつたいににがさないでね。



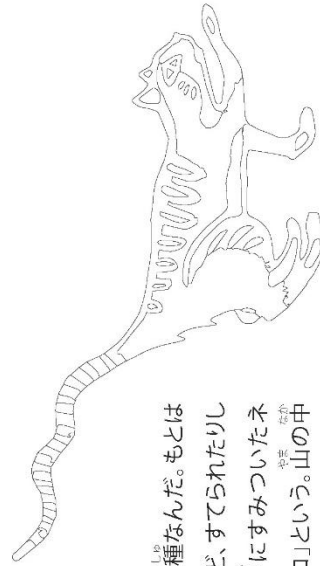
グリーンアノール

虫を食べるのが大すぎ! 沖縄には、ここにしかない虫がいろいろいるんだけど、そういう虫がたくさん食べられてしまうんじゃないかと心配されている。オスにはピンク色のどぶくろがあるって、メスにかっこよさをアピールしたり、てきをおどろかすためにひろげてみせるよ。



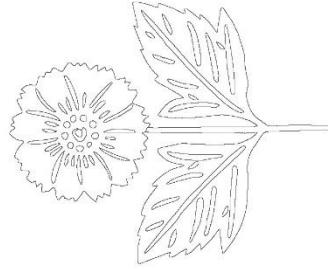
インドクジャク

石垣島などは、クジャクがすみついてしまっているんだ。虫やカゲなどたくさん食べてしまうんじゃないかと心配されている。畑のやさいをかってに食べてしまったりもするよ。



ノネコ

ネコも外来種なんだ。もとはペットだけど、すてられたりして自然の中すみついたネコを「ノネコ」という。山の中にキャットフードはないから、ヤンバルクイナなどを食べるようになってしまったんだ。



アメリカハマグルマ

どぶつだけじゃなくて、しよくぶつ外来種もおおいよ。アメリカハマグルマが生えると、地面をおおいつくしてしまっって、ほかのしよくぶつが生えられなくなってしまうことがよくあるんだ。